

「明日につなぐ」について

～ 特集への組合学校の思い ～

全国の浜々から“漁村の発展”を胸に、80年間絶えることなく学生が入学している組合学校は、1941年(昭和16年)10月1日に全漁連附属の漁業組合学校として誕生しました。後に、(財)漁村教育会が運営する全国漁業協同組合学校と名称を改めて今日に至りますが、組合職員としての実務能力を兼ね備えた漁村指導者の養成を目指すという設立以来の伝統を踏まえて、近年、「協同組合精神を持った漁協職員の養成」と掲げ力を注いできました。知識だけでなく、こうした精神力を養うこともできる、他に類を見ない特徴ある全国唯一の、漁業協同組合のための学校です。

創立以来、80年の歴史の中で、2,667名の卒業生たちは、全国それぞれの浜で、漁業者の生活を支えるプロフェッショナルとして、「昨日より今日、今日より明日」と歩みを止めることなく、漁村の発展を目指し走り続けてきました。そして今もなお、その思いを胸に走り続けています。

その原動力の根源には「協同組合精神」があります。これは一年間の寮生活で揉まれながら、学んで得た経験や絆を基に培われたものであり、卒業後も自身の地域だけではなく全国各地で活躍している卒業生たちと手を取り合い、困難を乗り越えることに繋がっています。

こうした漁協職員として活躍する卒業生が、日々奮闘している姿を80周年記念特

集でつづり、この特集を機により多くの人たちに知っていただきたいと思います。また、卒業生から在校生へ、親から子・孫へ、講師から講師へ等の移りゆく姿を伝えると同時に、世代を超えても変わらずに、バトンを明日へとつなげてきたそれぞれの思いを形に残し、これまで歩んできた組合学校の歴史を全国の皆様へお届けいたします。

そして、多くの学生を指導いただいた講師の方々、学校を支えていただいた漁協系統団体、学校関係者の皆様が、組合学校の学生へ期待する思いを、時代を超えてもなお、受け継がれていることについて、組合学校として感謝の意を表したいと思います。

これらは、70周年以降の10年に重点をおきながら組合学校のホームページ上での掲載といたしますが、後日、まとめて、「記念特集」として活用することも想定しております。この特集が漁協職員をはじめ全国の関係者皆様の明日への活力の一助となり、組合学校が90周年、100周年と未来へつなげていく橋渡しとなることを願っております。

